

2025 年 5 月 25 日（復活節第 6 主日、C 年）

牧師メッセージ

「父と子と聖霊によって」

（ヨハネによる福音書14:23-29）

司祭ヨセフ太田信三

先週の福音は、いわゆる「告別説教」のはじめの箇所でした。今週はその結びの箇所です。先週の福音でイエスは、「私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」という新しい掟を弟子たち授けました。弟子たちはイエスの昇天後、互いに励まし合いながら新しい掟を守って生きていくことになります。

しかし、弟子たちがいくら励ましあったとしても、人間の力だけでは「愛し合う」ということは困難なことです。それは、私たちが生きている現実を見れば、はっきりと分かる事実です。「私があなたがたを愛した」と言ってくださったイエスの愛ゆえに、私たちは「あなたがたも互いに愛し合いなさい」という掟にとどまることができます。しかし、人間はどうしても自己愛や、狭い仲間内の愛に惑わされてしまい、イエスの愛から離れてしまう存在でもあるのです。それゆえ、イエスはさらなる助けを弟子たちに約束してくださいました。それこそ、弁護者なる聖霊による助けです。「弁護者、すなわち父が私の名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、私が話したことをことごとく思い起こさせてくださる」という約束です。イエスが天に戻られた後は、弟子とイエスはこの聖霊によって繋がれることになるのです。

イエスの言葉は、イエスが勝手に語った自分の言葉ではなく、「私をお遣わしになった父のもの」です。その言葉は、聖霊を通して語られます。なぜなら、「弁護者、すなわち父が私の名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、私が話したことをことごとく思い起こさせてくださる」からです。

人間だけでは新しい掟を守ることができません。父と子と聖霊なる神の助けがあつてこそ、私たちは新しい掟を生きることができます。人間をどこまでも愛してくださる神は、御子をこの世に遣わし、御子が天に戻った後は、聖霊によって人を守り、導いてくださいます。この三位一体の神の働きは、み言葉によってなされます。そのみ言葉は今も、私たちのそばで聖霊を通して語られています。父と子と聖霊なる神が一つになって私たちを愛し、語り続けてくださるから、私たちは様々な惑わす声から守られ、導かれ、心を騒がせず、おびえず、愛し合い、喜んで生きることができます。